

将来の夢へ新たなる第一歩

協会創立50周年記念式典を挙行

スライドショーで50年を振り返る

当協会は今年創立50周年を迎え一連の記念事業を展開していたが、11月14日（プラスチックの日）に来賓、正会員・賛助会員、関係者合わせて244名が出席し『創立50周年記念式典』を盛大に開催した。

当協会は昭和32年11月5日に中部プラスチック成型工業会として設立以来、プラスチック製品製造業の合理化、技術開発、研究、技術指導、技術者・技能者の養成等を通じて、プラスチック産業の発展や、プラスチック製品の普及に努めてきたもので、平成12年4月より「社団法人中部日本プラスチック製品工業協会」に改称し、現在に至っている。

記念式典は、名古屋国際ホテルを会場に午後3時30分開会。大松副会長の開会の辞の後、物故会員に対して黙祷を行い、次いで挨拶に立った服部会長は、協会創立の趣旨、事業内容、創立50周年記念事業を紹介した。また1850年代に登場したセルロイドから現在に至るプラスチッ



厳粛に挙行された記念式典



来賓祝辞を述べる
中部経済産業局産業部次長鈴木秀和氏



神田愛知県知事より感謝状を受取る服部会長（左）

ク製品の進化にふれ、「私達の生活を豊かにしてくれたプラスチックは将来性、発展性が高い素材なので、これからもこの50年の経験を生かし自然や環境に優しさを与え、人間の豊かさのもとよりあたたかさ、ぬくもりをもって、プラスチック産業の歴史を築いていくことを目標に努めて行きたい」と決意を表明した。



愛知県知事賞を受ける後藤鉦一郎氏

来賓紹介の後、記念植樹を行った名古屋市工業研究所山下所長に、服部会長から高野楨2本と植樹記念碑の目録を贈呈。続いて功労者表彰、感謝状の贈呈と進められ、来賓3名より祝辞があり最後に後藤理事の閉会の辞で式典を終了した。

引続き服部会長が企画・製作を手掛けたスライドショー“50年を振り返って”が上映され、遡ること50年前から今日に至るまでの協会の歩みと並行して社会のできごとが実に味のある服部会長と式典の司会者山口弓佳さんのナレーションで語られ、さらにBGMスリーフェニックスの生演奏が映像を引き立てた。

第2部の祝賀会は、神田真秋愛知県知事の出席も得て進められ、はじめに服部会長から神田知事へ「愛・地球博記念公園」に設置された両面ポール型ソーラー式長波電波時計一式及びガーデンテーブル・ガーデンチェア50セットの目録が贈呈され、また神田知事より服部会長に感謝状が授与された。

引続き神田知事、衆議院議員江崎鐵磨氏（代理：江崎夫人）の祝辞があり、協会の歴史を讃えると共に「50周年は通過点、生活に密着したプラスチック産業の更なる発展を祈りたい」旨激励の言葉が贈られた。

このあと名古屋市工業研究所山下所長の音頭で乾杯が行われ、懇親に移った。会員らで構成するバンド「アロハ・ウクレレ」、スライドショーでBGMを務めた「スリーフェニックス」のステージでの演奏を楽しみ、スライドショーでのクイズの正解発表では、正解者に豪華賞品

が贈られた。和気藹々の雰囲気の中、中部プラスチック連合会磯野会長の発声中締めが行われ、記念式典及び祝賀会を閉会した。

〈役員功労者表彰〉

▽愛知県知事賞＝後藤鉦一郎（タイセイプラス）、鈴木啓之（鈴木化学工業所）、宇佐美教之（ウサミ化成）
▽名古屋市長賞＝瀬川憲（瀬川化学工業）
▽連合会長賞＝山下繁雄（マルエ産業）。

〈感謝状贈呈〉

▽歴代会長＝前田窈（山勝工業）、石原富祥（東海プラスチック工業）尾原成夫（オハラ樹脂工業）。

▽歴代専務理事＝前専務理事：山根圭二。

▽中部日本プラスチック職業訓練校講師＝平野幸治、高橋鉦次、黒部文仁、松原秀樹、白勢陸郎、中嶋慶二、中村秀雄、稲垣荘司。

▽事務局職員功労＝森 里子。（敬称略）



好評を受けたスライドショー



バンド演奏やゲームも行われ、一段と盛り上がった祝賀会

『将来の夢』を語り合う

創立50周年記念 座談会

10月16日に記念事業の一環として、名古屋国際ホテルで行われた座談会には13名が出席し、協会の50年のあゆみを振り返ると共に、先輩たちを受け継ぎ、後輩たちに志を継いで、次の世代へバトンタッチして行くべく将来の夢を語り合った。

座談会の進行役は元会長の石原富祥氏が務め、“感”が生きる成形技術から現在の新技術に至る技術の変遷の話題から入り、昭和35年頃には工業部品から日用・家庭用品の普及が目ざましくなった当時が思い起こされた。

座談会はこの後、▽自社の成長、発展のきっかけ▽協会に加入しているメリット▽受注生産という立場での経営の厳しい局面▽製造メーカーとしてのメリット、デメリット▽現在最大の課題とも言える原油高騰による材料の値上げへの対応▽求人難、海外進出への対応と企業の存続▽バイオマスプラスチックの将来性▽業界の将来像、自社の将来像▽今後の協会のあり方などをポイントに意見交換が行われ、最後に「協会の会員といっても商売については、それぞれ顧客との間で成立っている。しかし、お互いの悩みや解決策、或いは共通の課題など、腹を割って情報を交換し、自社の経営に役立ててこそ協会に加入しているメリットではないか？今後も意義ある協会として存続し、プラスチックを通じて世のため、人のために役に立って行きた



13名が出席して開かれた創立50周年記念座談会

い」旨の言葉で締めくくられた。

なお座談会の内容については、平成20年1月に発行の創立50周年記念誌に掲載を予定している。

電波時計の寄贈と記念植樹

11月6日には、両面ポール型ソーラー式長波電波時計（高さ約5.3m）一式とガーデンテーブル、ガーデンチェア50セットを愛知県に寄贈。設置場所の「愛・地球博記念公園」（モリコロパーク）に服部会長はじめ協会役員及び関係者らが出席してお披露目した。

一方記念植樹は11月8日に名古屋市工業研究所正門において行われ、協会役員及び山下所長以下研究所職員らも高野槇（こうやまき）2本の植樹に土を入れた。「高野槇」は、本州、四国、九州に分布する常緑針葉高木で、秋篠宮悠仁さまのお印となっている。



記念植樹を行う④名市工研山下所長と服部会長



時計台の前での記念撮影
後方はガーデンテーブルとチェア

チャリティゴルフ大会

46名が参加し腕競う

ゴトープラスチック **坂田武士氏が優勝**

創立50周年記念チャリティゴルフ大会が9月26、日三重県桑名市多度町にある東建多度カントリークラブ名古屋で開催され、8時49分アウト・イン同時スタートの各6組で46名が優勝目指して腕を競い合った。

快晴、無風、気温は30度近くまで上がり汗ばむ陽気で周年記念コンペを祝福するような好天気恵まれた。

前回の周年記念同様4つのショートホールでワンオンできなかつた時は、1ホール最低500



左が優勝した坂田武士氏

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	ゴトープラスチック	坂田 武士	43	50	93	21.6	71.4
2位	丹羽トレーディング	丹羽 英昌	40	43	83	10.8	72.2
3位	いその	小島 秀夫	43	43	86	13.2	72.8
4位	マルシン化成	神丸 潤也	41	45	86	13.2	72.8
5位	藤和ライト	小川 博司	46	39	85	12.0	73.0

円のチャリティをお願いした。

プレー終了後パーティを開催し、表彰式を行い、記念コンペに相応しい豪華賞品が成績に応じて贈られた。

競技方法はダブルペリア方式で行われ、ゴトープラスチックの坂田武士氏が優勝の荣誉に輝いた。その他上位の成績は別掲の通りであった。

ボウリングは80名が参加

団体戦は中部エクストロン
個人戦は野田誠次氏が優勝

チャリティボウリング大会は、9月30日に「星ヶ丘ボウル」で開催された。日曜日にもかかわらず80名もの参加者があり、50周年を祝うのにふさわしい大会となった。

服部会長から50周年のあゆみが紹介され、参加者に御礼の言葉が贈られた。記念撮影をした

創立50周年チャリティボウリング大会順位表

(団体戦)

順位	会社名	得点
1	中部エクストロン	1328
2	オハラ樹脂工業(A)	1266(H60)
3	松井製作所	1250

(個人戦)

順位	氏名	会社名	得点
1	野田 誠次	中部エクストロン	379
2	長谷川 祐輔	松井製作所	372
3	石垣 保彦	東海プラスチック工業	354
4	服部 浩司	和泉化成	354
5	山田 美佐江	三扇化学	353(H60)

DJK 第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎ダイヤルイン・東京(03)5214-8500
 大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎ダイヤルイン・大阪(06)366-2800(受付案内台)
 札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札幌ビル) ☎(011)241-2435(代表)
 名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目3番(名古屋栄7フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
 広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
 営業所 仙台・静岡・四国・福岡
 出張所 滋賀・北関東

一生道のパートナー **第一生命**

それぞれの生き方に、
いつもベストな答えを。

しあわせな人生を、力強く支える保険

新堂堂実生

第一生命保険相互会社
 ホームページ <http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

後、服部会長の始球式でゲームがスタートし、2ゲームを競った結果、団体戦では中部エクストロンチームが、個人戦でも中部エクストロンの野田誠次氏が優勝した。

ゲーム後の成績発表は懇親パーティーの中で行われ、上位者、また入賞者には各賞が贈られ、和やかな雰囲気の中でお開きとなった。なお、パーティー席上で参加者に募ったチャリティ募金は31,030円に達した。



団体優勝した中部エクストロンチーム、右端は服部会長



個人戦上位者左から長谷川氏、野田氏、石垣氏

チャリティの収益金20万6,931円 中日新聞社会事業団に寄託

なお、ゴルフ大会とボウリング大会で集まったチャリティの収益金は、11月9日に服部会長が中日新聞社会事業団を訪れ寄託した。金額は206,931円に上った。

厚生労働大臣表彰を受賞 技能検定試験の推進に尽力



伊藤プラスチック研究所
伊藤義信氏
10月31日東京の明治
記念館「富士の間」に
おいて職業能力開発関
係厚生労働大臣表彰式

が行われ、技能検定関係功労者として正会員伊藤プラスチック研究所の伊藤義信氏が厚生労働大臣表彰を受賞した。

伊藤氏は現在技能検定委員会委員長の要職にあり、昭和61年から現在まで22年間技能検定委員として技能検定試験の推進に尽力し、その功績が認められ今回の受賞となった。

・・・ 製造事業所の皆様へ・・・

経済産業省
愛知県
名古屋市

経済産業省では、工業統計調査を平成19年12月31日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

皆様から御提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確な御記入をお願いします。



ISO 9001

TOYO

東洋機械金属株式会社
中部支店

〒465-0051 名古屋市名東区社ヶ丘1-1202
TEL (052) 704-4500 FAX (052) 704-3980



プラスチック用産業合理化機器メーカー

NAKAMURA

中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch
〒444-0051 愛知県岡崎市北野町字高塚101 〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37
TEL(0564)31-2919 TEL(0426)20-5466
FAX(0564)31-3435 FAX(0426)20-5461
URL <http://www.nakamura-kagaku.co.jp/>

平成19年度前期技能検定を実施 製品検査と採点会議



名古屋市工業研究所で行われた採点会議

平成19年度前期技能検定プラスチック成形射出成形作業1・2級の合格者が、10月10日愛知県職業能力開発協会から発表された。

各技能士の合格者数と合格率は、1級76名(22.2%、実技：22.1%、学科：65.5%)、2級286名(45.7%、実技：59.5%、学科：58.2%)で合計362名の技能士が誕生した。

今年の実技受検者数が789名に達し、昨年につき2級受検者を1日3人体制で実施した。

実技試験は今年も失格者と作業途中の棄権者を合わせると200名を超え、欠席者も含めれば実に実技受検者数の31.4%(248名)にも達する。次回に向けてこの現状の打開策が急務となる。

試験終了後の9月12日に製品検査・採点会議が実施された。今年は、昨年までお世話になった東郷製作所から名古屋市工業研究所に会場を

平成19年度後期技能検定受検申請状況

作業別	級別	受検区分						合計
		A甲	A乙	A丙	B	C	D	
プラスチック成形	特級	23	2		5	1		31
ブロー成形	1級	4			2			6
	2級	6			4	2		12
射出成形	3級	9			1			10

変え、検定委員、補佐員など総勢96名が参加した。検査ラインも5つから6つに増やし時間短縮を試みた。初めての会場でもあり照明の明るさなど諸問題もあったが滞りなく終了することができた。

合格率向上へ見直し図る 技能検定委員反省会

平成19年度前期技能検定が、9月12日の採点会議(製品検査)で3ヶ月間に亘る日程が終わり、来年度に向けての反省会が、去る10月19日午後6時30分より名古屋国際ホテルにて、各事業所派遣の技能検定委員、来賓等合わせて40名が出席して開催された。

まず、後藤理事長から検定委員への長期間に亘る任務に対して、労をねぎらう挨拶からはじまり、引き続き臨席の愛知県職業能力開発協会技能検定課の渡辺課長より技能検定業務についてのお礼の言葉があった。

次いで、伊藤委員長より合格率等が発表され、特に1級実技合格率の低さと失格者が多いことが目に付くと指摘があり、さらには検定委員のアンケートの集計をもとに、来年度へ向けての問題点、実技試験実施方法などについて説明があった。

引き続き懇親の部に移り、服部会長の乾杯の発声ではじまり、和気藹々とした雰囲気の中で親睦が図られた。中締めでは児玉副委員長の挨拶があり、検定委員として相応しい行動をするという再認識が強調され、閉会となった。



乾杯の音頭をとる服部会長(右端)

中部日本プラスチック職業訓練校

見学レポート

いその 稲沢工場

〈瀬川化学工業 N・K〉

9月21日(金)に愛知県稲沢市にある、いその株式会社さんの稲沢工場を見学させていただきました。

生まれて初めて自分がたずさわっている成形材料の製造工程を見せていただいて驚いたのは、成形の時に不良品となって、回収された車のグリルやインパネなどを粉碎してもう一度ペレット化して出荷するという工程が行われているということと、ペレットを数種類におよぼ検査方法で精度などを正しく測って依頼してきた会社へ送るといったところです。

実際に工場を見学して、今まで見たことのない巨大なタンブラーという材料の機械がぐるぐる回っていたり、粉碎した材料を見た時に驚きました。そしてその材料で作られた車の部品や日用品を見た時にも凄くと思いました。

この工場見学で個人的に学んだことは、レジメーカーと呼ばれているこのような材料製造メ



製品の展示室を見学

ーカで作られた材料から、自分が働いている成形工場加工した成形品を車のメーカーや日用品の会社などに納入し、それが日常生活で使われていると思うとこの3社のつながりがないと生活できないんだなと思いました。

中部日本工業 本社見学

〈瀬川化学工業 Y・Y〉



玄関前での記念撮影

9月28日の午後「金型の構造」の授業で、金型の設計・製造を行っている「中部日本工業」の本社工場を見学した。

初めて金型ができるまでの工程をみて思ったことは、まず、どのような「物」を作るために、どのように「製図」するのか、それをどのような機械で切断するのか、どの部分がどのように組み付けるのかを見ていき、思っていた以上に頭の使う仕事だと思ったのが製図の作業で、パソコン画面を2つ使い、目が痛くなりそうな仕事内容で、大変な仕事だと思いました。

あと、「Wizaray-R」というソフトウェアを使って「立体模型」を見てみて、リアルに作ってあるなと感心しました。

成形不良率低減への提案

「ハングリー成形法」

株式会社 日本油機

〒229-0003 神奈川県相模原市東淵野辺4-2-2
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683
E-mail: nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

MEIKI

株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX (0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

環境にやさしい「クルマ」の技術産業展

〈鈴木化学工業所 K・I〉

2007年9月7日にポートメッセなごやで行なわれた環境にやさしい「クルマ」の技術産業展に足を運んだ。今回の技術産業展は今問題となっている環境問題や限りある資源を深刻に考え一つ先に進んだ車の展示がされていた。

主にハイブリッドカー、クリーンディーゼル車、電気自動車、燃料電池自動車が大々的に取り上げられていた。

最近よく耳にする電気自動車は名前の通り電気を利用しバッテリーと電気モーターを原動力とするクルマで、環境にやさしく、静かで低コストという謳い文句で出展していた。しかし、私は環境にやさしいという点に疑問が生まれた。

確かに消費者はガソリンを使わない車に乗るので電気自動車を利用する消費者は環境にやさしいといえるだろう。ただ肝心の電気はどう作られているのか、劣化してしまったバッテリーの処理はどうするのか、など問題の紐を解くと必ずしも環境にやさしいとはいえないのではないだろうか。他の車についてもおそらく環境に



注目されるトヨタ自動車ブース

やさしいとはまだ言い切れないだろう。

環境と資源と車のバランスを考えネクストワンを常に考える世の中になって欲しいと感じた。

〈瀬川工業 Y・Y〉

私はあまり車には興味がなかったのですが、普段見ることのない「燃料電池」を使った車や「電気自動車」、「電動三輪車」などや、天然ガス、LPガスを使いたいかにも環境にやさしい自動車を見てみると、外見ばかりにこだわらず、内面にこだわりを持つようになったらいいなと思いました。

他にいろいろな大学が「ソーラーカー」やポートミたいなものも展示していましたが、どちらかというところのほうがおもしろく思いました。



名古屋工業大学が出展した「ソーラーカー」

2007 メカトロテック・ジャパン

〈鈴木化学工業所 N・K〉

2007年10月19日に名古屋市・港区金城ふ頭にあるポートメッセなごやで開催された「メカトロテックジャパン2007」を見学しました。

会場は1号館、2号館、3号館とすごく広い会場をバラバラにちらばって見学しましたが、自分が見たのは1号館限定で「(株)アロマ&RDコーポレーション」と「株式会社MSI」と「セイロンジャパン」と「(株)ジェービーエム」のブースでしたが、自分の働く会社には樹脂の流動

PLASTICS WORLD
YAMASO

山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海
営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
取手・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

射出成形を
トータルサポート

NISSEI 射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■名古屋営業所/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555(代)
■岡崎出張所/TEL(0564)52-1430 ■三重出張所/TEL(059)224-0716
■本社・工場/〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

／保圧／冷却／変形の解析を3D表示ソフトを出展していた「株MSI」だけが関係あるものでした。

でも、中国製ワイヤーカット装置を展示していた「株アロマH&RDコーポレーション」やCAD/CAMソフトなどを作っている「株ジェービーエム」等のブースを見ていてこの人たちが日本の工業技術の最先端を引っぱっていることを認識させられました。



記録づくめとなった「MECE'07」3号館会場

指導員研修で株ハーモ訪問 本社工場・伊那工場を見学

中部日本プラスチック職業訓練校講師研修の一環として、去る10月26日長野県上伊那郡南箕輪村にある株式会社ハーモを訪問した。

本社工場は伊那の環境に恵まれた広大な土地に、瀟洒な建物が建てられている。

株式会社ハーモはプラスチック射出成形機の成形品取出しロボット及び周辺機器の総合メーカーで、小型ロボットの国内シェアは40%を占めているそうである。取出しロボット以外に、ホッパードライヤー、ホッパーローダー、除湿

乾燥機、金型温調機、粒断機や各種成形品ストック装置、コンベアの生産を行っている。

環境の時代に対処するため、環境ノイズの削減、モジュール化の推進、互換性の向上などに注力している。

新製品の粒断機はいわゆる成形品の粉砕機で、回転刃を用いた普通の粉砕機とは異なり、静電気、ミスカット、騒音の発生を抑えるため、独自に開発されたプレスカット方式を採用している。

本社工場は製品ごとに区分けされたスペースで組み立てが行われているが、作業者の数は想像以上に少なかった。また、工場の一角には数十年は使用したと思われる古い機械が、修理のために持ち込まれていたが、これも驚きであった。

本社工場の見学後、伊那工場を見学したが、この工場は、粒断機の生産を行っている。工場内には射出成形機が5台ほど設置されていて、成形機ごとに設置された粒断機の作動状況も見ることができた。



見学先のハーモ本社工場で

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012
TEL (052) 931-1211(代)
FAX (052) 930-1975

青年経営者研究会事業

中国(天津)研修を実施

豊田合成、タツミ化成を見学

青年経営者研究会は、今期は多くの新入会員を迎え入れ、見聞を広める為に11月15日から11月17日の2泊3日の日程で、中国の天津へ進出している会員企業の天津龍巳摸塑有限公司（タツミ化成株）と天津豊田合成有限公司（豊田合成株）の工場見学を実施した。参加者は6名。

1日目は、午前8時に中部国際空港に集合し、結団式を行った後に各自で出国手続きを行い、10時45分のJAL787便で天津空港へ向けて出発。13時過ぎには到着し、空港では気温1度とかなり寒い中、タツミ化成の山崎社長と天津タツミ化成の西垣総経理のお迎えを受け、2人の案内によりマイクロバスに乗り換えて、天津豊田合成を訪問した。

空港からバスで20分ぐらいの所に、日本企業の中国工場が建ち並ぶ中、広大な敷地内に天津豊田合成の工場が構えている。

早速、田邊総経理自ら会社概要の説明があり、その後、総経理・稲垣副経理・真辺経理の案内で、工場の隅々まで見学した。

ここには第1・2工場があり、主に自動車部品のブレーキホース・ハンドル・内外装部品の成形・組付け・塗装作業を行っている。従業員は約1,500名が働いており、13人の日本人を各部署に配置している。少人数の管理体制では従



天津豊田合成を見学する一行



タツミ化成で歓迎の横断幕の下で撮影

業員の指導に非常に手を焼くことが多く、また「天津気質」などにより雇用の難しさもあるようだ。

また、年間通して乾燥した気候が黄砂や工事などにより砂ぼこりを多く発生させ、視界も非常に悪い。その影響で工場内の通路も真っ白になっており、塗装部門では品質維持のため、年間莫大な金額を投資して対策に講じているということだ。他には駐輪場にかわる駐車場の確保など日本では考えられない苦勞を知る事ができた。

2日目も好天に恵まれ、気温は5度程度と寒さの厳しい朝ながら、前日に続き工場見学として天津タツミ化成を訪問した。天津豊田合成から車で15分程の所に工場があり、バスで工場の門を入るなり、無数の爆竹と歓迎の横断幕が掲げられ先ずはビックリ。

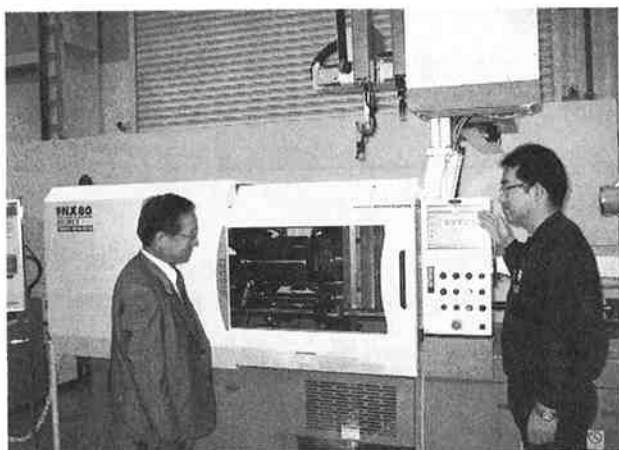
始めに、昨日世話になった山崎社長と西垣総経理の丁寧な挨拶があり、竹腰副総経理・章工場長のタツミ化成との馴れ初めを聞いた。引き続き、金型生産工場へと…そこには生き生きとした現地採用の天津人社員が数十名でCAD・CAMを、隣の建屋へ移れば最新のマシニングを扱う担当の多さにビックリで、それらは、教育の行き届いた印象を感じるものであった。更には射出成形工程・新たに増築した組付け工場・塗装ブースへと全てを見学した。

午後からは北京方面へ移動し、故宮・万里の長城を見学し、翌日帰国の途に着いた。

「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』を掲載しております。今回は趣向を変えて、「蓄積から進化へ」と題し、新技術発表会・技術セミナーを開催した日精樹脂工業(株)をレポートしました。(レポーター 文化広報委員会 宇佐美 教之)

「蓄積から進化へ」と題し新技術発表会が日精樹脂工業(株)本社で10月12日～13日開催された。展示製品は、去る2月に優秀省エネルギー機器表彰「資源エネルギー庁長官賞」を受賞したハイブリッド式射出成形機PNX/FNXシリーズのモデルチェンジ機をはじめ好評の電気式射出成形機NEXシリーズなどで、展示実演された。また、9月よりスタートしたナノ素材(カーボンナノチューブ)と樹脂を混合させた高機能複合材料と複合化技術について紹介された。



(新型機の前で説明を聞くユーザー)

また本館2階ホールでは両日にわたり技術セミナーが開催された。

- (1) ユーザーサイドから見たXポンプ成形機の評価
- (2) CNTブレ混合による高機能複合材料の紹介
- (3) 最近の海外進出企業のトレンド
- (4) 油圧の良さ再発見新Xシリーズの特長と成形事例
- (5) 段取り時間の短縮化提案

以上のセミナーはいずれも好評で立ち見の出るほどでした。

上記のうち(1)は「ハイブリッド機を使って判ったこと」との副題で組合の児玉康彦副理事長(三扇化学社長)が講師となり講演した。以下講演内容の一部を紹介します。

従来の成形機と比較して

1. 精密部品の成形を管理できる。
2. TACTの搭載により工程監視できる。
3. 油温が上がらない。
4. 省エネ性が高い。
5. 静か。



(講演する児玉社長と沢山の聴講者)

6. 作動油の量が少ない。…約半分
7. 射出速度の立上がりが良い。

電動機と比較して

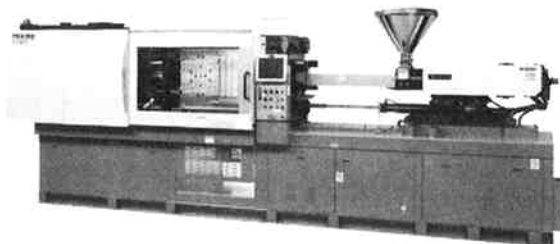
1. 省エネ性は若干劣る。
3. 安定性は若干劣る。
4. 成形停止精度が若干劣る。
5. 性能差はあまり感じない。

電動機より良い点

1. 保圧が長くかけられる。
2. 射出速度が滑らかである。
3. メンテナンスフリー…特にグリス不要。
4. 超寿命…ボールネジやトグル機構が無い。
5. 低コスト…修理費は安価

最後に日精樹脂さんに一言

出先の営業の意見提案は顧客の代弁として反映させてほしい。数年前に小生が提案した成形機が正にこのハイブリッド機であり、開発のご苦勞に感謝し、益々の研究・開発を期待します。



成形機・技術などお問い合わせは

日精樹脂工業株式会社 名古屋営業所
名古屋テクニカルセンター
〒485-0039 愛知県小牧市外堀2-167
TEL:(0568)75-9555(代) FAX(0568)75-9800

車内用簡易トイレ

カネコ産業が開発

「くるまるくん」誕生

11月15日、弊社初めての自社オリジナル商品、車を簡易トイレにしてしまう「くるまるくん」を発売いたしました。この商品の開発経過等を紹介させていただきます。

弊社はプラスチックブロー成形を主に行っています。ちょうど5年ぐらい前よりOEMでブロー成形で携帯用のトイレを作っていました。使用時はいいのですが、使い終わった後、邪魔になってしまい、折りたたみ式でできないか色々と考えていました。

商工会議所新瑞支部の「ものづくり研究会」で中部デザイン研究所の渡辺社長と出会い、相談したところ、市場調査から始めなければダメということで、様々なところへ行って調査をしてきました。その中で、あいち健康長寿産業クラスター推進協議会の研究会に参加、外部専門家などの協力を得て、福祉・生活支援用具のニーズ及び市場調査を行い、排泄用具の研究開発を継続して実施してきました。

調査の中で色々なことがわかってきました。近年、地震・災害時に最初に困るのが水とトイレと言われています。飲料水や保存食の備えは各家庭で進みつつありますが、簡易トイレはその必要性は理解されていても実践する人は少数のようです。被災地では水道、電気、ガスなどの

ライフラインはストップし、家屋に被害を受けた人たちは避難所に避難するがトイレが遠いためにお年寄りが水分を摂らずに亡くなる例も報告されています。運良く家屋倒壊を免れた人も水道が不通ではトイレは使用不能です。

今回は、自動車内で使用できることを目標として研究開発を行いました。

製品の特徴としては、自動車の車内に目隠しカーテンを設置し、個室空間を作ったうえで用を足せる緊急トイレで、プライバシーが守られることにより女性・大人も安心して使用することができます。また、災害時だけでなく、自動車の渋滞時、アウトドアなど、排泄時にいつでも車内に緊急のトイレが確保されます。一家に一つ、車に常備しておけば子供も女性も安心してドライブ、レジャーに出かけることができます。目隠しカーテンにより、着替えなど様々な場面で使えるユニバーサルデザインとなっています。

トイレ本体は、ダンボール製。使わない時は、折畳まれた平面の状態です。セット全体のサイズは600×380×25mmと薄く、軽量でかさ張りません。

使用方法は使用時にトイレ本体を組み立て、排尿袋を被せるようにして覆います。凹みの部分に給水シートを敷きセット完了です。目隠しカーテンをセットしトイレ本体に座って用を足します。ダンボールトイレは垂直加重700kgに耐え、通常の使用での強度は充分です。

トイレ本体、その他のパーツは全て燃えるゴミとして処分でき、廃棄の手間がかかりません。

スキーシーズンのサービスエリアやイベント会場などに見る女子トイレの長蛇の列。子供、お年寄り、車椅子利用者など不意に尿意をもよおしたり、車椅子対応のトイレがない場合、あるいは車内での着替えなど様々な場面で使用することができるユニバーサルデザインです。

今後は、販路開拓に力を入れると同時に、ニーズに応え、今度は本業のプラスチックを使って商品開発ができるように一層切磋琢磨していきたいと思っています。



「くるまるくん」



車内後部席で「くるまるくん」を広げて使用する状態

《平成19年7月～9月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 279社 (30.5%)

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本 79社(33.8%)	神奈川県 24社(26.1%)	中部日本 63社(36.0%)	西日本 113社(27.3%)
----------------	-----------------	-----------------	-----------------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類 42社	包装用容器・キャップ 45社	電気・電子・通信部品 66社
自動車・輸送機器部品 79社	住宅関連 9社	その他 38社

3. 従業員数の内訳

1～30人 96社	31～100人 115社	101～300人 50社	301人以上 18社
-----------	--------------	--------------	------------

4. 今期(平成19年4月～6月)の自社業況について(前期比%)<()内は前回の結果です>

	前期(平成18年10月～12月)比		
①生産・売上高	1. 増加 (19.8) 21.1	2. ほぼ横這 (51.0) 51.6	3. 減少 (29.2) 27.2
②製品単価	1. 上昇 (4.4) 7.9	2. ほぼ不変 (78.5) 76.7	3. 下落 (16.8) 15.1
③採算	1. 好転 (6.7) 8.2	2. ほぼ横這 (52.3) 54.1	3. 悪化 (40.6) 37.3
④所定外労働時間	1. 増加 (14.1) 15.4	2. ほぼ横這 (65.8) 66.7	3. 減少 (19.8) 17.9
⑤製品在庫	1. 増加 (16.4) 12.2	2. ほぼ不変 (69.8) 73.8	3. 減少 (13.4) 13.6
⑥樹脂原料単価	1. 上昇 (70.1) 73.8	2. ほぼ横這 (29.5) 25.8	3. 下落 (0.0) 0.4
⑦総合判断	1. 好転 (7.0) 8.6	2. ほぼ横這 (56.0) 55.6	3. 悪化 (36.6) 35.8
⑧来期の見通し	1. 好転 (10.7) 14.3	2. 横這 (62.8) 58.1	3. 悪化 (25.5) 27.2

5. 当面の経営上の問題点(%)<()内は前回の結果です>

1. 受注不振 (32.2) 22.9	2. 売上不振 (25.5) 22.2	3. 輸出不振 (0.3) 0.0	4. 製品単価安 (49.3) 53.4	5. 取引条件悪化 (4.4) 3.6
6. 過当競争 (14.1) 18.3	7. 輸入品との競合 (5.7) 9.0	8. 流通経費増大 (7.7) 7.2	9. 原材料高 (71.5) 71.0	10. 借入負担増 (4.4) 5.7
11. 貸し渋り (0.7) 0.4	12. 人件費高 (16.1) 14.7	13. 技能者不足 (26.5) 26.2	14. 技術力不足 (15.1) 17.6	15. マーケティング力不足 (6.7) 9.3
16. 設備過剰 (2.7) 1.8	17. 法的規制 (2.0) 1.4	18. 為替問題 (3.7) 2.2		

6. 景気状況について

改善している	以前と変わらない	悪化している
6.8%	49.1%	42.7%

BLOW MOLDING
ゴトープラスチック株式会社
 代表取締役 後藤 壽夫
 〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
 TEL (052)502-7671
 FAX (052)502-6451
 Mail:t.goto@goto-plastic.co.jp

 **株式会社 三幸商会**
 取締役社長 若尾 敬
 名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075
 TEL (052)733-5111(代) FAX (052)733-5141
SANKO SHOKAI CO.,LTD.
 3-3-2 Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
 TEL (052)733-5111 FAX (052)733-5141

各分類ごとの経営上の問題点(平成19年7～9月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別					
		日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	自動車	住宅関連	その他
受注不振	22.9	23.8	9.1	34.8	13.9	44.4	31.6
売上不振	22.2	42.9	18.2	22.7	15.2	11.1	21.1
輸出不振	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製品・請負単価安	53.4	47.6	54.5	53.0	62.0	55.6	39.5
取引条件悪化	3.6	2.4	0.0	1.5	7.6	11.1	2.6
過当競争	18.3	21.4	22.7	18.2	19.0	0.0	13.2
輸入品との競合	9.0	21.4	0.0	9.1	5.1	0.0	15.8
流通経費増大	7.2	4.8	2.3	9.1	11.4	11.1	2.6
原材料高	71.0	88.1	88.6	56.1	63.3	88.9	68.4
借入負担増	5.7	11.9	2.3	6.1	5.1	11.1	2.6
貸し渋り	0.4	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
人件費高	14.7	9.5	4.5	13.6	26.6	22.2	7.9
技能者不足	26.2	19.0	25.0	25.8	29.1	33.3	28.9
技術力不足	17.6	9.5	15.9	21.2	21.5	11.1	13.2
マーケティング力不足	9.3	11.9	13.6	7.6	3.8	22.2	10.5
設備過剰	1.8	4.8	2.3	1.5	1.3	0.0	0.0
法的規制	1.4	0.0	0.0	1.5	2.5	0.0	2.6
為替問題	2.2	4.8	0.0	3.0	1.3	0.0	2.6

取出口ロボット・FAシステムの総合開発

STAR

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所/〒433-8108 静岡県浜松市概済町288 ☎053(437)5951 ☎053(437)5622

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 ☎0587(95)7551(代)

出張工場/〒699-0631 鳥取県東郷郡大山町大字直江町3538 ☎0853(72)4311

技術とハートがスパークする

ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501

各分類ごとの業況判断(平成19年7~9月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

		全 体	団 体 別				製 品 別						昨年同期比	
			中 部 日 本	東 日 本	神 奈 川 県	西 日 本	日 用 品 ・ 雑 貨 類	容 器 包 装 ・ キ ャ ッ プ	電 気 ・ 電 子 ・ 通 信 部 品	自 動 車	住 宅 関 連	そ の 他	中 部 日 本	(前 回)
① 生産高 売上高	増加	21.1	20.6	10.1	20.8	29.2	19.0	20.5	19.7	19.0	44.4	26.3	38.1	42.3
	横這	51.6	52.4	59.5	37.5	48.7	50.0	50.0	51.5	60.8	33.3	39.5	34.9	34.6
	減少	27.2	27.0	30.4	41.7	22.1	31.0	29.5	28.8	20.3	22.2	34.2	27.0	23.1
② 製品単価	上昇	7.9	1.6	8.9	4.2	11.5	11.9	18.2	9.1	0.0	0.0	7.9	11.1	3.7
	不変	76.7	73.0	74.7	83.3	78.8	85.7	81.8	71.2	70.9	100	76.3	44.4	59.6
	下降	15.1	23.8	16.5	12.5	9.7	2.4	0.0	19.7	29.1	0.0	13.2	44.4	32.7
③ 採算	好転	8.2	7.9	5.1	12.5	9.7	9.5	2.3	10.6	5.1	11.1	15.8	7.9	17.3
	横這	54.1	52.4	60.8	41.7	53.1	54.8	50.0	54.5	59.5	55.6	44.7	46.0	40.4
	悪化	37.3	38.1	34.2	45.8	37.2	35.7	47.7	34.8	35.4	33.3	36.8	44.4	42.3
④ 所定外 労働時間	増加	15.4	15.9	11.4	25.0	15.9	14.3	13.6	10.6	20.3	11.1	18.4	22.2	15.4
	横這	66.7	71.4	69.6	41.7	67.3	69.0	70.5	68.2	65.8	66.7	60.5	60.3	65.4
	減少	17.9	12.7	19.0	33.3	16.8	16.7	15.9	21.2	13.9	22.2	21.2	17.5	19.2
⑤ 製品在庫	増加	12.2	11.1	8.9	12.5	15.0	16.7	13.6	16.7	3.8	11.1	15.8	12.7	9.6
	横這	73.8	79.4	73.4	70.8	71.7	71.4	72.7	62.1	87.3	66.7	71.1	77.8	80.8
	減少	13.6	7.9	17.7	16.7	13.3	11.9	13.6	21.2	8.9	22.2	10.5	9.5	9.6
⑥ 材 料 調達単価	上昇	73.8	77.8	70.9	50.0	78.8	83.3	90.9	66.7	67.1	77.8	68.4	88.9	80.8
	横這	25.8	22.2	27.8	50.0	21.2	16.7	9.1	31.8	32.9	22.2	31.6	11.1	19.2
	下落	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ 総合判断	好転	8.6	6.3	5.1	12.5	11.5	16.7	2.3	10.6	3.8	0.0	15.8	11.1	17.3
	横這	55.6	57.1	55.7	50.0	55.8	47.6	45.5	60.6	63.3	77.8	44.7	49.2	50.0
	悪化	35.8	36.5	39.2	37.5	32.7	35.7	52.3	28.8	32.9	22.2	39.5	39.7	32.7
⑧ 来期の 見通し	好転	14.3	11.1	12.7	8.3	18.6	19.0	11.4	15.2	12.7	11.1	15.8	12.7	21.2
	横這	58.1	52.4	63.3	62.5	56.6	42.9	61.4	62.1	60.8	66.7	55.3	54.0	51.9
	悪化	27.2	36.5	24.1	29.2	23.9	35.7	27.3	22.7	26.6	22.2	28.9	33.3	26.9



プラスチック射出成型、家庭用品製造販売

“求められる商品を、いつでも、どこでも、
より良い品質で、より速く、より心をこめて”

和泉化成株式会社

〒491-0395

愛知県一宮市萩原町高木字五十歩1-4 <http://www.izumi-plastic.co.jp>
TEL. 0586-69-3131 FAX. 0586-69-5077 E-mail info@izumi-plastic.co.jp

中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

- 9月19日（名古屋市工業研究所） 24名
- (1) 協会創立50周年記念事業について、総務委員会、文化広報委員会からそれぞれ進行内容について委員会での討議した内容の提案があり、審議の結果、原案通り全員一致で承認。
 - (2) 第44回平成19年度永年勤続優良従業員表彰の被表彰候補者について説明。審議の結果、全員一致で承認。
 - (3) 8月29日の工場見学会と情報交換会の結果の説明が事務局よりあった。
 - (4) 前期技能検定の報告があり、実技試験の失格・棄権・欠席が例年より多く、実技講習会の内容を検討する。
 - (5) 合同支部会概要について説明。
 - (6) モノづくり基盤技術産業協働プログラム「業界対応研修」の募集案内について説明。
 - (7) その他、委員会、青年会、年金基金、事務局報告等。

- 10月17日（名古屋市工業研究所） 20名
- (1) 終了した協会創立50周年記念事業の実施したチャリティゴルフ・ボウリング及び座談会の結果報告とこれからの式典、記念誌などの事業について詰めの検討をし、審議の結果、全員一致で承認。
 - (2) 第44回永年勤続優良従業員表彰式の式次第について説明。
 - (3) 前期技能検定実施結果を事務局より報告。
 - (4) その他、委員会、事務局報告等。

▼文化広報委員会

- 9月21日（名古屋市工業研究所） 9名
- (1) 第65号の反省と第66号・第67号の編集方針について検討。
 - (2) 第67号（新年賀詞交歓特集号）の新春メッセージ、名刺広告について昨年同様で募集する。
 - (3) 創立50周年記念誌の検討－他。

▼総務委員会

- 10月9日（名古屋市工業研究所） 7名
- (1) 創立50周年記念事業の進め方などについて詳細を検討。
 - (2) 永年勤続優良従業員表彰式について検討
 - (3) その他

- 11月5日（名古屋市工業研究所） 6名
- (1) 創立50周年記念式典について役割分担などについて検討。
 - (2) 永年勤続優良従業員表彰式式典の進行役割分担など検討。
 - (3) 平成20年新年賀詞交歓会の検討－他。

▼技能検定委員会

- 10月2日（名古屋市工業研究所） 16名
- (1) 射出成形用検定機の油圧式から電動式への変更について検討。
 - (2) 実技予備講習会の内容について検討－他。

[全日本プラスチック製品工業連合会]

▼理事会（TV会議）

- 11月5日（事務局会議室） 5名
- (1) 第2四半期景況感調査結果について
 - (2) 下請適正取引等の推進のためのガイドラインについて
 - (3) 中小企業の事業継承税制（相続税の軽減策の充実）について
 - (4) 原油・原材料の価格上昇に伴う関連中小企業者対策について
 - (5) 平成20年新年賀詞交歓会について
 - (6) 公益法人制度改革の経過について－他。

告 知 板

【訃報】

▽10月28日 賛助会員 川口鉄工(株)
元代表取締役 川口貞夫氏

【お詫び】

前号第65号6P掲載の「日本ポリプロ」の記事中、生産能力は現在80.0千t/年とあるのは、見学先の四日市PP工場の生産能力です。それを明記しなかったことで、全生産能力と誤解を招いた事をお詫び申し上げます。